

2023年5月10日

株式会社時事通信社代表取締役社長 境 克彦 殿

株式会社メディカルトリビューン代表取締役社長 丸林 哲也 殿

HPV ワクチンの有効性に関する記事の訂正を求める要望書

薬害オンブズパーソン会議

代表 鈴木 利廣

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-4

AM ビル 4 階

TEL.03-3350-0607 FAX.03-5363-7080

yakugai@t3.rim.or.jp

<http://www.yakugai.gr.jp>

要望の趣旨

2022年9月14日に配信されたメディカルトリビューン、及び時事メディカルの記事「実証！HPV ワクチンの前がん病変予防効果¹」は、研究内容を正しく伝えていないので、訂正してください。

要望の理由

1 2022年9月14日に配信されたメディカルトリビューン、及び時事メディカルの記事「実証！HPV ワクチンの前がん病変予防効果」（以下単に「記事」という）は、新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野の工藤梨沙氏らの研究グループの論文（Cancer Sci（2022; 113: 3211-3220²）、以下単に「論文」という）を紹介したのですが、以下のとおりの問題があります。

（1）記事本文中に「ワクチン接種者では子宮頸部前がん病変〔高度扁平上皮内病変（HSIL 以上）〕が有意に減少しており」という記述があります。

しかし、貴社らが紹介した内容は、論文の結論ではありません。

論文 TABLE 3 を見れば明らかなように、解析途中の粗解析(Crude analysis)では、オッズ比 0.36、95%信頼区間 0.16–0.81、P 値 0.013 となっています。

統計的な有意差があるものの、これは年齢の中央値が3歳も違う接種群と非接種群の間の年齢調整前の数値に過ぎず、年齢調整の結果は、TABLE 3 の Model 1 に示されているように、調整後オッズ比 (aOR) 0.46、95%信頼区間 0.17–1.21、P 値は 0.116 であり、統計的な有意差がありませんでした。

その結果を受けて、論文の抄録(Abstract)には、However, analyses of all vaccinated women did not show significant effectiveness against cytological abnormalities.と記載されています。

つまり、記事の記載は、年齢調整の結果「接種者全体では HPV ワクチンの有効性が統計的な有意差をもって立証できなかった」という論文の結論を正しく伝えていないこととなります。

(2) さらに記事では、論文について「初交年齢や性交経験人数など性的活動性で調整し、HPV ワクチンの子宮頸部前がん病変予防効果を明らかにしたのは日本初の成果だ」との紹介をしています。しかしこれについても、TABLE 3 の Model 2 にあるように年齢に性的活動性を加味した調整後オッズ比 (aOR) は 0.59、95%信頼区間 0.23–1.53、P 値は 0.276 であり、統計的な有意差はなく、このような紹介のしかたは明らかな誤りです。

2 以上述べたように、記事は論文の内容を正しく伝えず、明らかな誤りを含んでいます。2023年5月9日現在、いまだにウェブサイト上に、そのまま記事が掲載され続けています。

その結果、読者に、論文によって HPV ワクチン接種者全体で HSIL+の予防効果が有意に確認され、さらに性的活動性で調整した後も HPV ワクチンの有効性が統計的に有意に確認されたという誤解を与えています。

当会議は、貴社らに対し、直ちに記事の訂正を行うとともに、訂正したことが初見の読者にもわかるように注釈を掲載することを要望します。

以上

¹ 実証！HPVワクチンの前がん病変予防効果（メディカルトリビューン）

<https://medical.jiji.com/news/54203>

（最終アクセス日：2023年5月9日）

² Kudo, R, Sekine, M, Yamaguchi, M, et al. Effectiveness of human papillomavirus vaccine against cervical precancer in Japan: Multivariate analyses adjusted for sexual activity. *Cancer Sci.* 2022; 113: 3211- 3220. doi: 10.1111/cas.15471.